同友ぐんま

同友会の活動はこちらのQRコードからご覧いただけます。▶

2022年 4月号

発行/群馬中小企業家同友会　〒371-0013　前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル４F　TEL 027-232-0001　FAX 027-232-0666　E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

働く環境づくり勉強会

（第1回／オープン例会）

経営労働部会

三月四日（金）、同友会事務所・会議室（Ｚｏｏｍ併用）を会場に「第一期働く環境づくり勉強会（第一回）を開催。経営労働部会設営による同勉強会は、三月から七月までの全五回で計画されており、第一回の今回はオープン例会として企画・設営されました。参加者は現地参加・全国各地からのＺｏｏｍ参加合わせて一〇〇名超。

戸塚部会長の開会挨拶・趣旨説明に続き、「多様な人材が活躍できる会社づくり」と題して、グリンリーフ㈱、代表取締役・澤浦彰治氏（沼田支部）が同社における働く環境づくりの経営実践を報告。評価制度・賃金制度・就業規則・社員教育など、各種社内制度の整備に至る課程や作成手順、そのポイントを直近の業績推移と合わせて解説しました。

現地参加者には特別に、実際に同社で使用している各種社内制度の現物（生データ）を回覧するなど、これまでに取り組んできた経営実践を余すことなく披露した澤浦氏。報告のまとめでは「経営指針書は会社経営に必須だが、実施しなければ絵に描いた餅。社内制度の整備は経営指針書を具現化する仕組みであり、会社の成長を促す」と参加者に語り掛けました。

その後、経営労働部会の金井氏が、働く環境づくり勉強会・全五回の開催概要とプログラム、各回におけるポイントなどを説明。閉会後すぐに数名から参加申込があり、初開催となる同勉強会ですが、二回目以降の盛会を予感させました。

参加者アンケートには「社内制度の連動と見える化の重要性。自社が取り組むべき課題が見えた」「社員と一緒に取り組む大切さ。経営理念をどう社員の行動にまで落とし込むかがカギ」「経営課題の解決には長い年月が掛かる。今回の報告を参考にしながら諦めずに立ち向かいたい」などの感想が綴られていました。

自営業に嫁いだ私の人生の活かし方

鶴の花部会2月例会

鶴の花部会では二月二十五日（金）、アメイジンググレイス前橋（前橋支部）を会場に、Ｚｏｏｍを併設したオープン例会を開催。「自営業に嫁いだ私の人生の活かし方」とのテーマで、㈱サンエイ・中西篤子氏（太田支部）、㈲農園星ノ環・星野美樹氏（沼田支部）、㈲妙義ナバファーム・黛佐予氏（富岡安中支部）の三名がパネラーとなり、コミュニケーションサポート・齋藤由起子氏（桐生支部）のコーディネートで、女性としての働き方や経営者婦人としての葛藤などを自身の経験をもとに語り合いました。

当日は、鶴の花部会として初めてのオープン例会ということもあり、会員経営者・経営者婦人・オブザーバー参加者に加え、県外同友会の女性部メンバーなど約五〇名が参加しました。

コーディネータを務めた齋藤氏は、パネラーそれぞれの社会に出てから現在に至る働く環境の変化や、現在の仕事内容、経営者婦人としての立場や心境の変化などをテンポ良く引き出しました。パネラー三名も、その時々のエピソードや心情を赤裸々に報告し、参加者の共感を得ながら、経営者を支える立場としての考えを率直に語りました。

齋藤氏は、三名の話を聞き「女性の変わらないまま変わっていく〝しなやかさ〟、変わりながらも変わらない〝したたかさ〟を感じる内容だった」とパネルディスカッションを締めくくりました。

グループ討論後のまとめでは、鶴の花部会・部会長の澤浦氏が「結婚、出産などの環境変化に柔軟に対応する女性の働き方は、いま企業に求められている変化への対応力に通じる。また、女性が会話の中からコミュニケーションを拡げていく強さは、組織力向上に繋がっていくと感じとれた」とまとめ、「女性が華やかに活躍するために、それを支える男性的思考の必要性も感じた」と、設立から現在までの活動を通して気づいた異性の必要性を共有しました。

初めての経営指針

太田支部２月例会

太田支部では、二月二十四日（木）、Ｚｏｏｍミーティングを会場に、オンライン例会を開催しました。住宅・事務所・店舗・工場等の清掃、一般家庭用清掃洗剤製造販売などを行う㈱キレイスキー、代表取締役・樋口勝也氏が「初めての経営指針～作って気付けたわが社の想い～」と題して、経営指針をつくる会に初参加した感想や成果を報告しました。

「創業から四年。感覚的な経営でやって来たが、事業規模拡大を考えて受講を決意した」と経営指針をつくる会へ参加した経緯を振り返った樋口氏。作成した指針書を解説しながら、そこに込められた想いも紹介しました。また、参加した感想として「現場を離れ、考える時間を作ることも経営者の仕事だと改めて実感できた」と語りました。

グループ討論では「キレイスキー、俺ならこうする」とのテーマで、参加者一人ひとりが樋口氏の立場だったらどうするのかを深め合い、討論の発表では、異業種の視点からのアドバイスが聞かれました。

半年間に及ぶ研修の集大成

第26期経営指針をつくる会・発表会

三月十八日(金)～十九日(土)の二日間、Gメッセ群馬を会場に「第二十六期経営指針をつくる会・発表会」を開催。新型コロナ感染拡大の影響で二月から一ケ月延期となりましたが、昨年八月からの約半年間、全六講に及ぶ研修の集大成として、参加者それぞれが学び合い、会社の将来と真剣に向き合いながらまとめ上げた「経営指針」が披露されました。

また、同友会の中心的な活動の一つである「経営指針の成文化と実践」を広く啓蒙するため、今回の発表会にも例年どおり広く見学者を募集。経営指針に高い関心を持つ方、来期の受講を前向きに考えている方など、多くの見学者が駆けつけました。

発表・質疑応答・アドバイスを含めて一社概ね六〇分の持ち時間を使い、経営理念に込められた思い、今後の方向性を指し示す経営方針、数値・行動にまで落とし込んだ経営計画を発表していった参加各社。企業を取り巻く経営環境は目まぐるしい変化の渦中にありますが、いずれの参加者からも「絶対に良い会社にする」という強い意志がヒシヒシと伝わる、中身の濃い経営指針の発表となりました。

丸二日間、約二〇社が発表を行うハードスケジュールではありましたが、自社の発表時間だけでなく、他社の指針書や取り組みからも多くの学びが得られたことでしょう。「学ぶことはマネること」と言われるように、他社の良い部分を参考にしつつ、さらなるブラッシュアップが期待されます。

参加者レポートには「なりゆき任せの経営から指針書に基づく経営へ。目標や課題、実行すべき事柄の優先順位が明確になった」「満足のいく経営指針ができた。今後は目標達成のツールにまで高めたい」「参加企業のレベルは年々高まっている。つくり続けることで会社は絶対に良くなると確信した」などが綴られていました

来期の「経営指針をつくる会」も今年度同様、夏からの開催が予定されています。詳細については決定次第ご案内いたします。ぜひご参加ください！

初のZoom飲み会を開催

沼田支部2月例会

沼田支部は、二月十七日(木)、Zoomを使用しオンライン飲み会を開催しました。当初の予定では、延期になってしまった一月例会・新年会を企画していましたが、県のまん延防止等重点措置の期日延長を受け、予約していた焼肉酒楽JyuJyu(サンモール／沼田支部)も休業対応となってしまいました。そんな中「二ヶ月連続での延期・中止はできない」との判断で、支部としては初となるオンライン飲み会が決行となりました。

通常の例会とは異なるリラックスした表情が画面に並び、乾杯した後は参加者全員の近況報告などを行いました。フリートークでは「男は年を取ると料理を始め、そして煮込みがち」など印象的なフレーズも飛び出し、多数の共感を得ました。

社長が手料理で社員を労う事を目的とした例会「俺の社長メシ」が実現する日も遠くないかもしれません!?

本気で取り組む採用戦略

高崎支部2月例会

二月二十八日（月）、ビエント高崎（Ｚｏｏｍ併用）を会場に「高崎支部二月例会」を開催。「本気で取り組む採用戦略～えっ!?中小企業で継続的な新卒採用を!?～」をテーマに、高崎支部の会員企業二社（㈱石井工機／三朋企業㈱）の事例報告から、参加者それぞれが自社の採用戦略について考えました。

石井工機の事例報告は、専門家の立場で同社の採用活動に携わっているフィロソフィ・猪瀬氏。社員の平均年齢が高くなっていたことを踏まえ、中長期的な採用戦略の構築支援からスタートし、その戦略に基づく現在までの取り組みや成果などを紹介しました。また、各種情報ツール・管理ツールや対話型会社説明会の実施、リクルートパンフレットの更新なども詳細に説明した上で「人材を〝集める〟から〝集まる〟へ変えていくのが大事。まずは役員による戦略構築から」と語りました。

三朋企業の事例報告は、同社採用担当・デザイナーの安田氏。「求職者に〝何、この会社!?〟と思わせる。取っ掛かりは何でも良く、とにかく興味を持ってもらうことが重要」と語り、安田氏が中心となって作成した会社紹介動画やパンフレット、ホームページなどの〝何、この会社〟と思わせる仕掛けを説明。また、高校就職サイトでの情報収集や高校・産業技術専門校への訪問活動による関係づくり、社員インタビュー動画の活用なども合わせて紹介し、地道な取り組みの重要性を語りました。

報告終了後は「これからの採用戦略」をテーマにグループ討論を実施。「若者に自社をアピールする手段・ツールの作り込みに注力したい」「必要な部分は専門家の力を借りることも大事」「採用のあり方を社内で固めてから、やり方につなげることが大切」など、各テーブルで活発な意見が交わされました。

持続可能な地方都市を目指して

伊勢崎支部２月例会

二月二十二日（火）、Ｚｏｏｍミーティングにて「伊勢崎支部二月例会」を開催。昨年五月の支部総会でお招きする予定だった伊勢崎市長・臂泰雄氏を迎えて「五〇年一〇〇年経っても持続可能な地方都市を目指して」をテーマに、伊勢崎市の現状と課題、今後の展望などを具体的な事例を交えながら丁寧にお話しいただきました。

はじめに市内における新型コロナの感染状況、それにより見えてきた地域医療のあり方について説明した臂氏。また、県内の他自治体との各種指標の比較から同市の現状と課題を挙げ、「コンパクトシティの推進」「市民所得の向上（市内産業の生産性向上）」「教育環境の整備」「シビックプライドの醸成」など、持続可能な地方都市を目指すための考えや、その施策を解説いただきました。

その後は「持続可能な地方都市を目指すために中小企業ができることは?」をテーマにグループ討論を実施。臂市長にも各グループに加わっていただき、市民・事業者の立場からの率直な意見や提言、あるいは市政についてざっくばらんに語り合いました。

経営研究集会の学びをどう活かすか

桐生支部2月例会

二月十五日（火）、桐生市職業訓練センター（Ｚｏｏｍ併用）を会場に「桐生支部二月例会」を開催。「経営研究集会の学びを徹底検証～自社の経営にどう活かすか？～」をテーマに、㈲岡田電気設備・岡田氏、㈲平野商店・平野氏、㈱ハセイプランニング・周藤氏（いずれも桐生支部）が報告しました。

桐生市内で行なわれた二〇二二経営研究集会から約三カ月、そこでの学びや気づき、その後の変化や挑戦などを徹底検証するために企画された今回の例会。「常に挑戦し続ける」「これまでの常識に捉われない」「時代に合わせて変化」など、報告者三名は印象に残った講師（㈱バニッシュ・スタンダード・小野里氏）の言葉を引用しながら、それらを自社経営にどう活かしているか、あるいはどう活かすかを、現状の課題やギャップと合わせてありのままに語りました。

その後は三名の報告をもとにグループ討論を実施。参加者それぞれの経営研究集会での学びや気づき、自社での取り組みなどを交流しました。

副業人材の活用とメリット・デメリット

富岡安中支部2月例会

富岡安中支部では、二月二十五日（金）、富岡商工会議所会館を会場に、Ｚｏｏｍを併設した支部例会を開催。副業人材をテーマに「富岡市の取組と市内企業の副業人材活用事例」を富岡市役所の白井翼氏が、「副業人材のメリットとデメリット」を㈱野口製作所・野口大輔氏がそれぞれ報告を行いました。

富岡市役所・白井翼氏は「富岡市副業人材活用事業」がスタートした経緯と目的、市内事業所での実際の活用事例を支援側の視点で報告。

野口氏は、「雇う雇わないではなく、働き方の一つとして知っておく事も大事」として、自社で副業人材を雇用し感じたメリット・デメリットを紹介しました。

参加者アンケートには「副業という言葉のイメージと実際の働き方のギャップが埋まってきた」「まずはやってみる事で新しい何かが見えてくる」「副業人材のスキルと知識を活用し、会社の課題解決に繋がりそう」といった感想が綴られていました。

限りある資源を、次世代へ
株式会社 エスティビー
Stability Topline Business Co.,Ltd.
Zero Emission
産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物リサイクルの提案
一般貨物自動車運送
塗装プラント清掃
〒379-2123
前橋市山王町1－19－14
TEL 027-212-3312
FAX 027-266-8288
http://www.s-t-b.jp

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス
用途に合わせ自由設計、コスト削減（事務所、店舗、倉庫、他）
プレハブパネル工法は規格部材を工場生産　経済性に優れ、短工期
株式会社 三栄工業
〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896－2
TEL. 0278－20－1110　FAX. 0278－22－2102
URL http://kk-sanei.net/

環境を思う、未来を想う
あらためて誓う
上武印刷
優れた環境適応性。
より高精細で美しい仕上がり
「水なし印刷」システム
「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有害な廃液を0にし、その結果CO_2を削減します。環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数を
オンデマンド印刷
オンデマンド印刷は、「必要な時、必要なだけ」の印刷でムダがなく、環境面で優れています。また、印刷コストを抑え、納期も短縮できます。
私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。
群馬県環境GS認定事業所
上武印刷株式会社
〒370-0015 高崎市島野町890-25
TEL 027(352)7445(代)　E-mail eigyo@jp-t.co.jp
FAX 027(352)2953(営業)　URL http://www.jp-t.co.jp/
Waterless Printing. Naturally.
FSC www.fsc.org FSC® C117691

会員企業紹介

訪問インタビュー

令和3年10月、代表取締役就任

兼希工業㈱

代表取締役　細渕　敦 氏（伊勢崎支部所属）

▼会社概要

当社は、木造新築住宅向けの省施工・省力化パネルの提案・設計・製造・販売をメイン事業として、一部金属加工を行っています。

昭和二十四年の創業時は、計量米びつや石油コンロなどの開発や製造を行っていました。後に、金属加工にシフトしました。

木造新築住宅向けの省施工化パネル事業は、私の入社後に立ち上げた事業です。

▼自己紹介

幼少期から〝金属加工〟会社の跡継ぎとして育てられ、疑いもなく過ごしてきました。学生時代はバンド活動とバイトばかりの生活でした。今でもジャンルを問わず音楽は良く聞きます。朝、お風呂で音楽を聞きながらリラックスした状態で一日のスケジュールを立てています。また、休日は子供との時間を優先して増やすようにしています。

▼入社の経緯

当時、金属加工の受注が海外流失などで減少し、経営危機に直面したことで新規事業に取り組む必要がありました。その事業立ち上げのため、他社で修行中だった私が呼び戻されました。会社を継ぐ事は理解していましたが、金属加工以外の仕事は想定外だったので、納得できず社長と衝突することもありました。

▼社長就任について

昨年十月に事業を引継いだことで、創業社長のエネルギーの強さと、それを引き継ぎ成長させ、バトンを繋いでくれた先代への責任感を改めて感じています。また、株式を含めて早い段階から事業承継に動いてくれていた有り難みを今になって感じています。

▼採用に関して

私が入社した頃は年上ばかりの組織だったので、中途採用で若返りを図りました。その後、各年齢層の必要性を感じ、定期的な新卒採用にシフトしました。今は新卒採用も見直し、社内の生産性向上を目的にダイバーシティ雇用に力を入れています。国籍や年齢、性別も問わず、活躍できる人財をバランス良く採用するようにしています。

▼ウッドショックなど

コロナ二年目の「ウッドショック」は、その言葉が認知されるほど業界内外に影響が出ています。木材の価格は最大で四倍程度まで上昇し、今も高止まりしています。あらゆる調達ルートを開拓して木材確保に奔走しました。

会社としては、先が読めない経済状況の中で「会社を継続」させる為に手元資金を集める事を基本対策としました。

▼付加価値創造のための取組

業界の情報を自分から集めることを強く意識しています。コロナにより情報交換の場が減ってしまい、余計にアンテナを高くする必要性を感じています。

また、「経営は下りのエスカレーター」という言葉を頭に置いています。立ち止まったら下るだけ。まさにその通りだと思いますし、その下降スピードは加速しています。上を見て走り続けるしかありません。

▼今後の展望

本業の強みに相乗効果が得られる展開を考えています。事業で言えば、新たに開発した「サッシ付き壁パネル」の全国的な普及に力を入れていきます。

同友会では、入会以降いろいろなタイミングで悩みを聞いてもらい、経営者として成長させていただいたと思っています。今後は、相談できる立場になって、悩みを抱える方に少しでも恩返しをしていきたいと考えています。

■顔の見える広報誌を目指して今日もどこかで取材中！

所在地／伊勢崎市日乃出町1038－38
連絡先／TEL0270－30－5800
HP／http://www.kaneki-k.co.jp/

会員たんしん

同友会のホームページで会員検索できます。

【長野原町へ除菌シート寄付】

中央カレッジグループ

中央カレッジグループ（代表理事長・中島利郎氏／前橋支部所属）。「新型コロナウイルス感染予防に役立ててほしい」と同グループの中島利郎代表が萩原陸男町長に手渡した。町内の小学校、こども園に配布した。

［２／26付上毛］

【空気清浄機寄贈】

㈱サンエイ

新型コロナウイルスの感染を防ぐため、㈱サンエイ（代表取締役・中西聡之氏／太田支部所属）は２日、千代田町に卓上式の光触媒空気清浄機２台を寄贈した。

寄贈した空気清浄機「プチジョシュア」はクラインズ（太田市）が開発し、サンエイが製造と販売を手掛けている。

町役場で開かれた贈呈式で、高橋純一町長は「来客の多いところに設置したい」と感謝した。以前、同製品を大泉町に寄贈した際、千代田町も製品に関心があると聞き、今回の寄贈に至ったといい、中西社長は「ぜひお役に立てていただけたら」と述べた。

［３／４付上毛］

【そば屋のだし生かした弁当】

㈱ダイコー

そば粉の製造事業やそば店運営を手掛ける㈱ダイコー（代表取締役・齋藤胡依氏／太田支部所属）は６日、太田市東金井町に新業態の鳥を使った弁当の持ち帰り専門店「屋台蔵」を開業する。そば店のだしを生かした弁当で、コロナ禍で高まる「中食」需要を取り込む。

一押しは「屋台蔵とり弁当　金山」（680円）で、同社のそば店で使うかつおだしで作るたれが肉とご飯に染み込む。米は北海道産ななつぼし、鶏肉はブランド鳥「森林どり」を使う。「からあげ弁当」（780円）と「ソースかつ弁当」（800円）のほか、唐揚げの量り売りや焼き鳥も販売する。

齋藤社長は「コロナで子どもが自宅にいる時間が増えている。食事を３食作るのは大変だと思うので、ぜひ利用してほしい」と話した。

営業時間は午前10時～午後８時。問い合わせは同店（0276-57-6034）へ。

［３／５付上毛］

【期待胸に352人巣立つ】

中央カレッジグループ

中央カレッジグループ（代表理事長・中島利郎氏／前橋支部所属）が前橋市内で運営する専門学校５校の合同卒業式が９日、同市のベイシア文化ホール（県民会館）で開かれた。352人が期待を胸に学びやを巣立った。

５校は中央情報経理専門学校、群馬法科ビジネス専門学校、中央農業大学校、中央動物看護専門学校、中央スポーツ医療専門学校。中島代表は「誰からも信頼され親しまれるたくましい若者となり、地域社会に貢献してほしい」と卒業生を激励した。

［３／10付上毛］

【学びを大切に社会貢献を】

新島学園短期大学

新島学園短期大学（学長・岩田雅明氏／高崎支部所属）の卒業証書・学位記授与式が16日、高崎市の同大礼拝室で開かれた。キャリアデザイン学科とコミュニティ子ども学科の卒業生計173人が、期待を胸に新たな一歩を踏み出した。

岩田学長は「人生の主役は皆さん自身。自分や周りの人の幸せのために、どんなときでも希望をもって歩んでください」と激励した。

［３／17付上毛］

【高級ウズラ卵　濃厚な味わい】

㈲高崎クエイル

ウズラ卵の生産で全国シェア２位の㈲高崎クエイル（代表取締役・串田幹雄氏／高崎支部所属）は18日、特別な飼料を与えて栄養価を高めた高級卵「極」を発売する。飼料に使う魚粉やパプリカの比率を増やし、濃厚な味わいを実現した。

ウズラの飼育には、トウモロコシや大豆かす、魚粉などを混ぜた配合飼料を用いる。極は同社で使用する通常の飼料に比べ、タンパク質やドコサヘキサエン酸（DHA）が含まれる魚粉の割合を２倍にし、酵母や乳酸菌も増やした。

１パック10個入りで千円。同社の直営店「う玉屋」で１日限定10パック販売する。

串田社長は「栄養価を高めたらどうなるのかという個人的な関心が開発のきっかけ。素材の味がわかりやすい卵かけご飯で食べてみて」と話している。

同店は火曜、水曜定休。問い合わせは同店（027-387-0876）へ。

［３／18付上毛］

【中小企業への人材派遣で協定】

中央キャリアネット㈱

中小企業の人材不足の解消に向け、あかぎ信用組合（前橋市）と人材派遣会社の中央キャリアネット㈱（代表取締役・小池正律氏／前橋支部所属）は23日、連携協定を結んだ。人材不足に悩む中小企業の情報を共有し、同社が人材を紹介することで支援をする。

同社は正社員の雇用を目指す企業に対しては、派遣期間後に直接雇用を結ぶことを前提にした「紹介予定派遣」で後押しする。

同組合伊勢崎営業部で行われた締結式で、小林理事長は「人材派遣は事業者にとって救いになる」とあいさつ。小池社長は「協定締結でより力を発揮できる場面を作ってもらった。期待に応えたい」と話した。

［３／24付上毛］

【組織変更】

㈲山一製作所、代表取締役・佐藤茂樹氏（富岡安中支部所属）は、この度、「㈱山一製作所」に組織変更しました。

今お使いの会計ソフトを
「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!
クラウド予算実績管理ツール
YOJiTSU®
https://yojitsu.net/
同友会 高崎支部会員　株式会社シスプラ　0120-638-377

アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム
充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！
〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058　FAX0276-30-4059
URL：http://www.apm-f.com　E-mail：fuse@apm-f.com

第11回 理事会報告

日時　三月一日（火）
※今回の理事会も同友会事務所とオンライン併用のハイブリッド開催となりました。

出席者（順不同・敬称略）
正副代表理事／田村、町田、戸塚、杉﨑、阿久戸、**常任理事**／吉池、提箸、山崎、澤浦、本多、増田、佐藤、周藤、海老沼、佐藤、星野、金井、佐藤、**理事**／小林、古澤、高屋敷、茂原、齋藤、布施、神保、渡辺、村岡、中西、兵藤、関口、小板橋、**事務局**／阿久澤、竹内（役員計三十一名）

【議　事】
沼田支部長の星野氏が議長をつとめ、田村代表理事挨拶のもと、第十一回理事会開会。

Ⅰ．報告連絡事項

1．各支部・部会・委員会等の案内報告
各組織担当者より、今後の計画や活動報告等がありました。

2．その他
①第五十二回中小企業問題全国研究集会（大分）の参加報告が杉崎副代表理事よりありました。
②中同協社員教育委員会の参加報告が吉池共育部会長よりありました。
③黒岩事務局長の退院予定について事務局より報告がありました。

Ⅱ．審議・承認事項

1．理事会への提案
前回理事会で提案された「広報委員会の名称変更」について、佐藤広報委員長より改めて提案があり、「広報メディア戦略委員会」への名称変更が承認されました。

2．後援依頼（二件）
①第三十三回全国高等専門学校プログラミングコンテストの後援依頼を承認しました。
②第二十回群馬県障害者技能競技大会の後援依頼を承認しました。

3．定時総会の概要確認について
四月二十七日（水）に開催される第五十回定時総会の概要が確認されました。

4．規約（一部改正案）について
総務会で検討した規約（一部改正案）が町田代表理事より提案され、これを承認しました。

5．第四次ビジョンについて
総務会で検討した第四次ビジョン（十年ビジョン）が田村代表理事より提案され、各支部運営委員会の意見を踏まえた上で、次回理事会で改めて承認することとなりました。

6．新年度スローガン案・重点方針案・部門方針案の決定について
前回の意見交換を踏まえ、再検討したスローガン・重点方針案が総務会から提案され、これを承認しました。
また、部門方針案については各組織担当者から説明・提案があり、これを承認しました。

7．今年度活動報告案の決定
二〇二一年度の活動報告案について検討し、これを承認しました。

8．入退会者承認と仲間づくり推進について
前回理事会以降の入会者五名、退会者三名を承認。会員数は五二七名となりました。

Ⅲ．意見交換・その他

1．意見交換
時間の関係で意見交換は割愛。代わりに今回、発言機会のなかった理事全員から新年度に向けての意見・提案等が述べられました。

2．第十二回理事会の開催確認
次回理事会を左記の通り開催することが確認され、議長選任は前橋支部に依頼しました。
■日時／四月五日（火）
■会場／同友会事務所＋ウェブ（併用）

新会員ご紹介

3月度常任理事会承認
会員名簿追加録（順不同・敬称略）
企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

前橋支部

彩園なかや
〒371-0221　前橋市樋越町245-2（A-103）
TEL：090－8342－0970

代表
中屋智博
H3年生

野菜生産・販売
つり、料理、音楽
【紹介者／須藤　晃】
「畑を拓き、人を育てる」という理念のもと農業の合理化と人材の教育を図っているネギ専門農家の彩園なかや代表の中屋智博です。この度、群馬中小企業家同友会前橋支部に入会させていただきました。諸先輩方の背中を追いかけつつ活動の中から多くを学ばせていただきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

高崎支部

㈲滝沢労務管理事務所
〒370-0861　高崎市八千代町1-19-8
TEL：027－323－2614
FAX：027－323－2610
社会保険労務士事務所（労務管理受託業）
ゴルフ、ドライブ
【紹介者／小板橋哲也】

滝沢将典
S63年生

同友会の皆さま初めまして。有限会社滝沢労務管理事務所の滝沢将典と申します。当社は1966年に曽祖父が社労士事務所として設立し、以降高崎市を中心に多くの事業所様の各種手続きや、年金関係、労使間の相談などを日々受けております。これから事務所を継ぐにあたり、学びの場を求めて入会させていただきました。会員の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

高崎支部

㈱社長の味方
〒370-0031　高崎市上大類町522-1
TEL：027－353－4969
FAX：027－353－4969
会社経営のサポート、生保代理店
マラソン、山登り、ゴルフ
【紹介者／事務局】

代表取締役
高橋寿明
S36年生

太田支部

GROWTH㈱
〒373-0042　太田市宝町637
TEL：0276－51－6150
FAX：0276－78－3482
障害児通所支援事業
読書
【紹介者／本多宏弥】

代表取締役
所谷忠治
S53年生

はじめまして。代表の所谷忠治と申します。当社は『縁ある人を幸せにする』ことを目的として児童福祉施設を運営しております。今後、児童達の未来のために就労継続支援もやっていこうと考えています。ご指導のほどよろしくお願い致します。